



## 11 素敵に花合わせ・色合わせをしたい (器・花・リボンなど、使いたいものに合わせたいなど)

### 花材を決めるポイント

贈りたい相手や、飾りたい場所、生かしたい器などから、作りたいテイストを決める  
テイストにあうメインの花と相性のよいサブ、隙間の小花と葉物を選ぶ  
もりあげアクセントを選ぶ→動きのあるつるや小物や実、アイキャッチをつくる

### 簡単・キレイにできる裏ワザ

#### シンプル考え方 作花材を構成する5つのエレメント

- 1 メイン（例 バラ・シャクヤク）→め
- 2 サブ（例 デイジー、スプレーバラ）→さ
- 3 隙間・足元の小花（アジサイ こでまり）→す
- 4 葉（ユーカリ、リキュウソウ）→は
- 5 動きとアクセント（実やツル カスミソウ）→うごき

アレンジによってはサブや葉物が2種になることもあります。  
アクセントにハートピックやリボンが相当するケースもあります。

め・さ・す・は・うごき→5Wは「目指すは動き！」と覚えましょう

★め **メイン選び**→先ずは好きな花、これだ！という花を**メイン**を選ぶ

★ざ **サブ選び**→メインに合う相手のこと 選ぶパターンは2つ

- ・「メインと同系色の自然な組み合わせ」白の濃淡でアレンジしたり、グリーンテイストなど
  - ・「メインと色はちがっても相性のよい組み合わせ」ピンクと紫、茶系とオレンジ、白と青
- このふたつのうちどちらかに傾向を決めて、**サブの花**を1~2種類えらぶと色合わせがスマーズです。

★すは **隙間&葉選び**→アレンジを飾る、贈るシーンや場所を再び考えます。家族が集合する朝のテーブルなのか、ジャズがながれる秋のカフェか、春の結婚のお祝いなのか、季節や具体的に飾る場所を思い描くと、添えるアイテムの構想がまとまりやすくなります。イメージをもとに、葉（丸いタイプかスリムか）小花や足元を隠す花材などを選びます。特に葉の色彩や小花はイメージの明暗を調整してくれるお役立ち素材です。

★**動き**と**アクセント選び**→外出も P T O にふさわしいアクセサリーを付けて出かけると気分が上がって盛り上がるよう、アレンジにも希望のイメージやシーンがさらに際立つような素材を入れましょう。実、つる、リボン、パール、ピック、など。空間に動きをだしてくれますし、リボン、パール、ピック類もアイキャッチとして効果的です

### ★おすすめ花材店

(株)東京堂 アンデコール（アスカ商会）横浜ディスプレイミュージアム（株式会社ボロー）いずれもネット通販もあります。店舗を検索してみましょう

## とても大事なグラディエーションと白の効果

たくさんの色を一度に見る人の目は、キツイ印象をうけます。そこにやんわりグラディエーションがついた花材があると人は無意識に、一呼吸おくことができ心地良さにシフトします。グラデーションをつける事と同じく、オススメなのが白。多色の世界をやわらげてくれます。が白は世の中で一番強い色です。少量でもすごくめだち効果的です。入れすぎには気を付けましょう



### どうすればいい？

- 選んだ花の色は綺麗なのに束ねたらインパクトがない

**対策→**サブかアクセントで濃い色を投入！引き締め効果とメリハリが生れます。

**対策→**くすんだ色を投入、重厚感、ヴィンテージ風時の流れが生まれます



- 選んだ花がなぜか平面的 原因はバラなど同じカタチのお花ばかりになっている



**対策→**花弁がとがったダリア、マム、デイジーのようなものもいれてみましょう。  
**違うカタチの花**がたちが、アレンジにリズム感を生みます。

## 全てのアレンジに共通する心地よい花の姿とは

詰め過ぎないように、風でこそよげるくらいの隙間があるアレンジにしましょう。光にかざしたとき足元からちらちらと向こうから光がみえるくらいがグッド。自然な姿です！

市販品は器にキュッと入れられ、カチッとアレンジしたものが大半です。理由はふんわりつくれば、より足元隠しの花材が必要になるからです。しかし自然の植物がそうであるように、足元はぎゅう詰めにはなっていません。

せっかくの手作りなら、全体的にふんわりとして、花が心地よさそうにみえるアレンジをめざしましょう。**ちいさな隙間もアレンジのうちです。**



花が同じ高さでとなりの花びらが押し合うのはNGですが **段違いの重なりなら、素敵な風合い**になります。



陶器のアレンジの場合、出来上がりの高さは花器の1.5倍くらいまでがベスト  
**器の淵**は、花材で全部覆ってしまうと分離してみえるので、**少しみせる部分**もつくると、花と器の一体感が生まれます

